



立派な角を持つトリケラトプス(約7千万年前)の口先は「クチバシ」です

角竜と言えは。「トリケラトプス」みんな、三本角の雄姿を思い浮かべます。ところが、角竜の共通点は、実は「角」ではない！たとえば、私たちがモンゴルの何体も発掘したプロトケラトプスは角なしの角竜。最近うちの恐竜学博物館にお目見えした中国産の「プシッタコサウルス」も角なしの角竜。角竜の祖先たちが最初に現れたアジアでは、角竜に目立った角はありません。実は角竜グループの一番大事な特徴は、口の先がオウム

共通点はオウム型クチバシ



1億3千万年前の「プシッタコサウルス」。初期の角竜なのに「角」はありません

のようなクチバシになっていること。特に上のクチバシの「しん」になる骨があることなんです。この独特のクチバシを守り

ながら、アジアから北アメリカへ進出していった角竜からは、やがて大きな体と角を持つ種類が続きと進化していきました。だからほとんどは

角竜というよりは「オウム型クチバシ竜」がいいのです！でも最初にアメリカで角ありさんたちの研究が進んでグループ名がついたので、あとでアジアからたくさん角無しさんが見つかったからと言って、いまさらかたんに変えられないのが事情です。

ところで最近「進化する」という言葉が変な使われ方をしているなっています。「大谷翔平選手は進化する」といった具合です。これは「成長する」でしょう。角竜の進化と大谷選手の「進化？」、どこが変なのか、一度調べてみてください。

動画も楽しもう



動画は左のQRコードから。または「恐竜調査隊が行く」で検索。

恐竜調査隊

が行く

岡山理科大学恐竜学博物館館長

石垣忍



豆知識

プシッタコサウルスはアジアで白亜紀前期に栄えた小型の角竜。今までに数百体が見つかっています。尾の部分に羽毛のようなものがある化石、小さな子供の集団化石など、興味深い発見が続いています。名前は「オウムトカゲ」の意。大きさは犬ぐらいで、二本足です。